琉球リースだより

新風

mi-kaji
【みーかじ】

2025
第32号

いろんなところでリース

簡単解説
パッパッとわかるリースの話

新風【みーかじ】
2025
第32号
編集／発行：株式会社琉球リース　企画・制作：株式会社アドスタッフ博報堂

リースカー向け自動車保険のご案内

リース契約に自動車保険を組み込むと、楽・得・安心です♪

楽

リースカー向け自動車保険2つのポイント

1. 自動車保険のご契約管理・保険料のお支払いがラクです！

⇒自動車保険の契約期間はリース契約期間にあわせて設定され、**毎年の更新手続きは不要です。**

⇒保険料は毎月のリース代に含まれて支払われます。

☑自動車保険の契約期間はリース契約期間にあわせて設定されます。
☑「長期一括払契約」のため、毎年の更新の手続きも不要です。

得

2. リース期間中の保険料はずーっと一定です！

⇒万が一事故がおきた場合も保険料は変わりません！

⇒また、リース契約期間中、保険料が平準化されるため、特に**新規保険や割引率の大きい方にお勧めです！**

万が一の事故でも安心！
充実した補償とサービスでお客さまをしっかりとお守りします！

☑ 長期一括払契約　☑ リースカーの車両費用保険特約
☑ 充実のロードサービス

当社は、2019年10月から大同火災海上保険（株）の代理店として
「リースカー向け自動車保険」の取り扱いを始めました！

詳しくは、当社の営業担当者、または営業統括部までお問い合わせください。

株式会社 RL 琉球リース ｜ 琉球銀行グループ
BANK OF THE RYUKYUS GROUP

https://www.rlease.co.jp/

【本　　社】〒900-8550 沖縄県那覇市久茂地1丁目7番1号 琉球リース総合ビル10階　TEL.098-866-5500 FAX.098-863-0381
【中北部営業部】〒904-0004 沖縄県沖縄市中央1丁目1番10号 琉球銀行コザ支店共同ビル6階　TEL.098-939-4880 FAX.098-939-4882

ご挨拶

―― 琉球リースの役員をご紹介します。

執行役員
新垣 実

新任 取締役(非常勤)
比嘉 葉子

新任 取締役(非常勤)
西尾 誠

執行役員
國吉 真人

監査役(非常勤)
渡名喜 郁夫

常務取締役
渡嘉敷 斉

代表取締役社長
古堅 雄二

常務取締役
玉城 政弥

新任 監査役
宮城 英和

ごあいさつ

代表取締役社長　古堅 雄二

盛夏の候、お客さま各位におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、足元の沖縄県経済は、昨年に引き続き物価高騰や人手不足の問題がみられましたが、底堅い消費マインドと円安を背景とした国内外からの旅行需要が高まり、基幹産業である観光業において前年比＋17.3％の９６６万人超と過去３番目の水準となりコロナ禍前の95％まで回復してきました。更には建設関連事業の続伸、インバウンドの回復を後押しする形で今年７月には待望の大型テーマパーク「ジャングリア沖縄」が開業し、観光業を中心に沖縄全体の経済の持続可能な発展と景気拡大が期待されております。

このような中、当社は今年度より新中期経営計画「Dynamic capability 2025」をスタートさせました。これまで築き上げてきたお客様との関係性を更に向上させ、お客様に何ができるか常に考え、様々な提案や問題解決策を講じるべく、真摯に対応してまいります。

今後とも引き続きご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

いろんなところで リース 第32回

リースの対象物件といえば、小さなものはOA機器・パソコンから、大きなものは船舶・航空機に至るまで、広い分野にわたって、お客様のニーズに応えています。

そこで、このコーナーでは、当社が選定したリース物件にスポットを当てて紹介します。

渋滞緩和や環境負荷低減に貢献
シェアサイクルサービス

シェアサイクルは、一定のエリア内に複数配置された自転車の貸出・返却拠点「ステーション」において、自転車を自由に貸出・返却できる交通手段です。借りた場所に返却するレンタサイクルと違い、目的地近くのステーションに返却できることが大きな特徴です。

沖縄県内でも現在、那覇市を中心に豊見城市や浦添市、宜野湾市、北谷町、沖縄市など11市町村に約210カ所のステーションがあり、620～630台の自転車が稼働しています。

県内でシェアサイクル事業を展開するA社は、沖縄の慢性的な交通渋滞緩和とCO_2排出の抑制、新たな移動手段の提供を目指しサービスを開始しました。通勤や通学、ショッピングモールなど買い物の交通手段として活用する利用者が全体の約6割を占め、観光客からはレンタカーやバスとは異なる、自由度の高い移動手段として好評を得ています。

沖縄県のマスタープランにも自転車の活用があげられており、シェアサイクルを利用することで短距離移動の際の自家用車利用を控え、渋滞緩和や環境負荷低減への貢献が期待できます。今後はモノレール駅やバス停、高校や大学などへのステーションの設置拡大。学割などの補助システムの導入など、官民一体となった普及活動に期待が寄せられます。

トレンド調査隊⑮

今、話題の街のトレンドを紹介！

Trend

沖縄戦終結から80年の節目の年に 改めて平和の大切さを考える

沖縄戦終結から80年の節目の年となる今年。これまでの歴史を振り返り、先の大戦の犠牲者を追悼するとともに、改めて平和で豊かな沖縄を目指すためのさまざまな関連事業やイベント、取り組みが予定されています。戦争にまつわるスポットを訪れたり、関連書籍や映画を鑑賞するなど、改めて戦争と平和について考えてみましょう。

戦争体験者が少なくなる中 次世代への継承が課題に

「ひめゆり平和祈念資料館」をはじめ、沖縄戦の戦跡は県内各地に数多く存在し、過酷で悲惨な戦争を今に伝える場として活用されています。

豊見城市の「旧海軍司令部壕」もそのひとつ。ここは沖縄戦の日本海軍沖縄方面根拠地隊司令部があった場所で、約4000名の兵士が壮絶な最期を遂げた壕内には、司令官室や作戦室など、旧日本海軍によって掘られた壕が当時のまま残されています。また、併設の資料館には壕内で発見された遺品や写真などが展示され、戦争の事実を今に伝える貴重な資料として整備、保存されています。

また、那覇市の首里城地下に拡がる「第32軍司令部壕」は、組織的な持久戦を展開した第32軍の軍事的中枢施設であり、沖縄戦を知るうえで極めて貴重な戦争遺跡として位置づけられています。沖縄県の計画案による と、中枢部につながる第1坑口と第5坑口を2026年度に、第5坑道を2030年度に順次公開する予定で、第5坑道は立ち入り見学ができるように整備を進めています。

旧海軍司令部壕。ビジターセンター内の資料室には、壕内で発見された戦争当時の遺品や戦争関連資料が展示されています

沖縄県では「戦後80周年平和祈念事業」として、沖縄県平和祈念資料館展示更新事業をはじめ、沖縄平和啓発プロモーション事業としてワークショップやシンポジウムの実施、「戦後80年おきなわ女性のあゆみ」記念誌の発刊、沖縄全戦没者追悼式の実施、国際スポーツ交流拠点形成事業など、40の事業に取り組むことを予定しています。

戦争の悲惨さを語り継ぎ 平和の尊さを後世に伝える

戦争体験者が少なくなり、次世代への継承が課題となっている中、今年2月、ひめゆり平和祈念資料館や対馬丸記念館など、沖縄県内で戦争や平和、人権に関する資料を展示する8つの施設が連携し「沖縄・平和と人権博物館ネットワーク」が設立されました。戦争の悲惨さや戦後の米軍政下の体験から希求した命の尊さ、人権の大切さを発信することを目的としています。

これまで、各施設で沖縄戦の教訓や戦後史を伝えてきましたが、国際情勢が変化する中、世界では戦争や紛争などで命が奪われ続けていると指摘。命や人権の大切さを発信する取り組みが必要だと訴えています。また近年、若い世代から軍備強化を肯定する意見もあり、若い人たちの危機意識や不安に向き合い、戦争への道を歩まないように一緒に考え、若い人を巻き込んだ事業を考えていきたいとしています。

今後の取り組みとしては、設立記念シンポジウムの開催や8施設を回るスタディーバスツアー、各施設を紹介するリーフレットの作成、各施設の概要や取り組みを紹介するパネル展など、様々な取り組みが予定されています。

関連本の出版や映画の公開も相次いでいます。

戦前（近代）・戦中・戦後の写真に記録された激動の沖縄史を、カラー化により鮮やかによみがえらせた写真集『カラー化写真で見る沖縄』が話題になっています。編者であるホリーニョ氏は、沖縄の古いモノクロ写真をAIを活用しカラー化しSNSへ投稿する活動を続けており、これまで300枚以上のモノクロ写真を着色し、掲載してきました。

戦前・戦中・戦後の写真に記録された激動の沖縄史を、カラー化によりリアルによみがえらせた『カラー化写真で見る沖縄』（ホリーニョ編／ボーダーインク）

本書は、新規追加分を含む120枚のカラー化写真を戦前（近代）・戦中・戦後に分けて掲載。色鮮やかによみがえった写真から、あの時代、あの場所に確かにいた人々の息づかいを感じ取ってほしいと願っています。

また、太平洋戦争末期の伊江島で、終戦を知らずに2年間ガジュマルの木の上で生き抜いた、沖縄と宮崎出身の日本兵二人の実話を基にした井上ひさし原案の同名舞台劇を、平一紘監督が映画化した『木の上の軍隊』（主演：堤真一、山田裕貴）が6月13日から沖縄先行上映（7月25日全国上映）されています。

沖縄戦終結80年の節目を機に、戦争の悲惨さを語り継ぎ、平和の尊さを改めて考えたいと思います。

簡単解説 3分で パッパッ とわかるリースの話

第32回

アカバナー商事
須場社長

このコーナーでは、リースに関するホットな話題、
お役立ち情報などをできるだけ簡潔にお伝えします。

琉球リース
早来係長

リース活用による業務効率化について

社長！よくご存じですね！

おはようございます！須場社長。

うちでも最近「DXを進めよう」って
会議でよく話になるんだけどね。
「何からやるんだ？」ってところで
止まってるよ（笑）

おはよう！早来君。
今年の夏も暑くて大変だね。

それはどの会社でも同じですよ。
でも実は、DXって難しいシステムを
入れることではなくて、業務のやり
方を変えることなんです。

そうなんですよ。営業先を回るだけで
汗びっしょりです。

なるほど。つまり、手間を減らしたり、
やり方を工夫するだけでもDXになる
のかい？

ほんとに参るよ。
冷たいおしぼりでも配ろうかって話まで
出てくるくらいだよ（笑）

それはありがたいですね（笑）
そういえば、最近「DX」という言葉を
よく聞きますけどご存じですか？

まさにそうです！
最近うちの取引先で、お掃除ロボットや
配膳ロボットをリース活用して導入する
ことによって、人材不足の解消に取り組ん
でいるところもありますよ。
これも立派なDXのひとつです。

「デジタルトランスフォーメーション」
デジタル技術を活用して業務プロセスを
根本的に変革することだよね。

うちも最近、書類回覧を電子化し
始めたよ。まだ全体じゃないけど、
だいぶ業務効率はあがってきた。

素晴らしいですね！
その小さな改善を積み重ねていくことが
DXの真髄なんです。
そして、そんな改善できる場所がまだまだ
残っているんですよ。

それはなんだい？

ずばり…社用車の運用管理です！

ああ、そこは盲点だったな。
この前も営業車の車検漏れや納税
対応で総務がバタバタしていたよ。

そうなんです！
点検整備・保険・税金・事故対応等を社員
が管理することによって負担となっている
ケースが多くあります。
そこを仕組みごと外部委託することがで
きるのが「**メンテナンスリース**」なんです。

なるほど…
つまり、自社車両をメンテナンスリース
に切り替えることで整備のスケジュール
管理も経費処理も効率化されるわけだ。

その通りです！
さらに、リース料は月額固定なので、
予算計画もしやすくなります。
整備のたびに見積もりと稟議を回す
手間も不要です。

なるほど..
うちは営業車20台あるから、まとめて
管理できたら総務も相当楽になるな。

はい！
実際、リースに切り替えたお客様の多く
が「これもDXの一つだったんだね」と
実感されています。
まず現場の見えるところからが業務効
率化の成功の近道です。

よし、まずは営業車のリース導入を
前向きに検討しよう。
見積もりと導入ステップをお願い
できるかい？

はい！任せてください！
よろしければ社長のスケジュール管理も
任せてください。

いや、それはうちの社員に
任せてくれ（笑）

※本コーナーは、分かりやすさを第一に誌面を構成しているため、
厳密には正確でない記述が含まれている場合があります。ご了承ください。

各部署紹介

各部署一丸となって
お客様のニーズに応えます!

本社営業部

新設

事務統括課

営業チームの事務をサポートします!!

営業課

「笑顔」と「ガッツ」を忘れず頑張るぞ!!

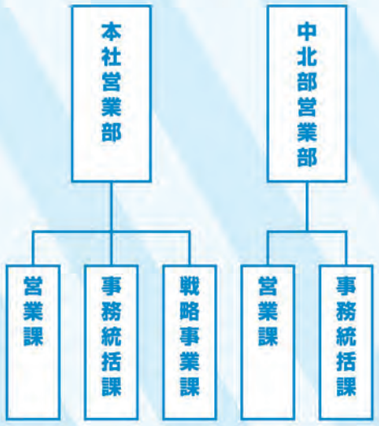
戦略事業課

お客様の課題解決に努めます!!

中北部営業部
〔営業課・事務統括課〕

一致団結でお客様の信頼に応えます!!

4月より組織改正を行いました。



組織機構の一部変更について

「事務統括課」を新設。事務作業の集約により効率化を図り、より一層お客様へのサービス向上を目指します。

また、営業第一部と営業第二部を統合し、「本社営業部」、営業第三部を「中北部営業部」、戦略事業室を「戦略事業課」へ名称を変更しました。

新入社員・受入出向者紹介

これからお世話になります！
何卒よろしくお願いします！

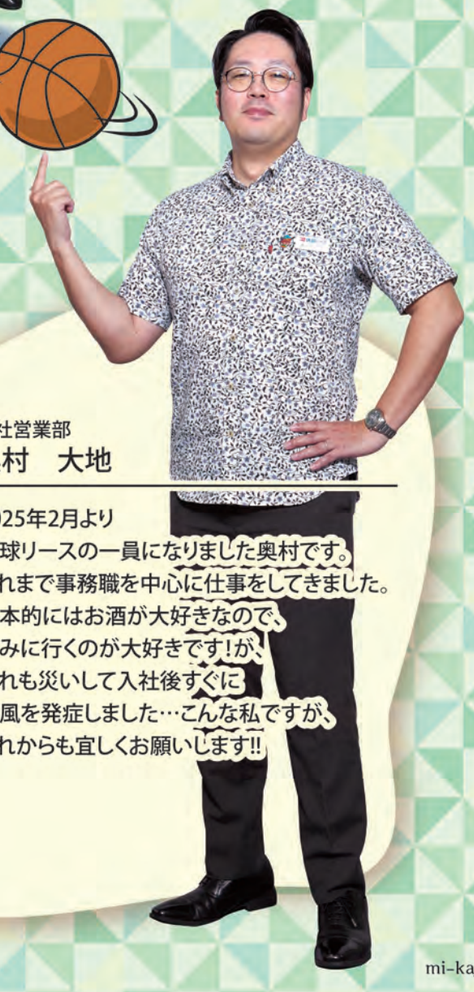
本社営業部
阿波根　佑歩

新入社員の阿波根佑歩と申します。
「ゆうほ」ではなく「ゆうと」と呼びます。
先輩からはゴンと呼ばれています！
趣味はダーツとカフェ巡りです！
日々勉強！お客さまに寄り添った、
心を打ち抜くような
提案をできるよう頑張ります！

各部署に
3名の新人・受入出向者が
配属されました！

審査管理部 部長
長濱　忍

このたびご縁があり、
琉球銀行より参りました。
お世話になります。
那覇の若狭町出身、
子は巣立ち、今はチワワ2匹。
趣味は、ボウリングでサウスポー。
微力ながら少しでも
貢献できるよう頑張りますので、
よろしくお願いします！



本社営業部
奥村　大地

2025年2月より
琉球リースの一員になりました奥村です。
これまで事務職を中心に仕事をしてきました。
基本的にはお酒が大好きなので、
飲みに行くのが大好きです！が、
それも災いして入社後すぐに
痛風を発症しました…こんな私ですが、
これからも宜しくお願いします!!

沖縄のクリエイター

沖縄の石にこだわり、手彫りで石獅子を製作する若山大地さん。沖縄でも数少ない石獅子専門の職人です。村の守り神である村落獅子に魅了されたという大地さん。「村落獅子は普通の人が村の人々のためにつくった、華美な装飾もなく、細かい細工ができない琉球石灰岩だからこそのシンプルな美しさが魅力」と語ります。妻の恵里さんは県内各地に残る村落獅子を訪ね歩き、石獅子の撮影と情報を記録しています。これまで訪れた村落獅子は個人所有も含めて約150体。「石獅子を知らない人も多く、記事にすることで多くの人に知ってもらいたかった」と、その魅力を発信し続けています。

作者紹介　スタジオ de-jin　**若山 大地**
若山 恵里

Profile

若山大地さん・1976年沖縄県生まれ、愛知県育ち。妻の恵里さん・1979年滋賀県生まれ。共に沖縄県立芸術大学彫刻専攻を卒業後、県立芸大の助手などを経て、さまざまな巡り合わせで村落獅子（石獅子）と出会い石獅子を彫り始める。2011年那覇市曙にて「スタジオde-jin」設立。2017年首里に移転。大地さんは琉球石灰岩の石獅子などを製作。恵里さんは村落獅子の調査研究、執筆活動を通して石獅子の魅力を広めています。地元新聞の副読紙にて7年間連載し、2022年7月に初の著書『石獅子探訪記』（ボーダーインク社）を出版。

スタジオde-jin
那覇市首里汀良町1-2 1階
☎ 098-887-7466
営業時間：10:00～18:00
休業日：日曜日・不定休（来店の際に電話で確認を）
http://www.de-jin.com/

今回の表紙について

心がけていることは、華美な装飾をしないこと。たくさんの人に持ってもらいたいから、安くするために時間をかけず、かわいいものをつくるよう心がけているそうです

製作作品

こだわりの道具を使って彫り出される作品

石敢當　小・中・大・文字手彫り

キャンベルスープ缶

ヒージャー・石獅子いろいろ

遊び心で制作した重箱

ストゥー缶

壁一面に整理されている大地さんこだわりの道具たち